

アタマジラミについて

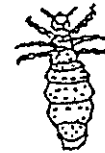
日ごろから本校の教育活動にご理解ご協力賜りますことに厚くお礼申し上げます。

さて、最近、近隣校でアタマジラミが発生したとの情報がありました。

アタマジラミは生活文化の進んだ現代では、誰にでも発生する可能性があり、人から人に移り広がるものです。水泳学習が始まりますので、ご家庭でも、身近な問題として、お子さんの頭髮に注意して、ご確認くださいようお願いいたします。

1 アタマジラミとは…

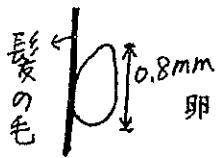
- ・人の頭髮に寄生しているシラミの一種で、体長はオスが1.0～2.0mm、メスが1.8～2.7mm。人の血を吸って生きている。



成虫：髪の毛に卵を一回に数個産み付ける。

約一カ月生き、人の体から離れても3日程生きている。

色は灰色で、外縁が黒ずんでいる。



卵：一週間ぐらいでふ化し、成虫になる。白いゴマつぶより少し小さめ。

(ぬけがらは茶色、卵は乳白色)

- 【感染経路】
- ・帽子、くし、タオル（特に水泳時など）、寝具等、身体に直接ふれるものを共同使用することにより移る場合が多い。
 - ・家庭内や集団生活の場で感染する。（保育所、幼稚園、小学校低学年の児童に多く発生する。）

2 発見方法

- ・成虫は暖かいとモゾモゾとはいだしてくるので見つけやすい。
- ・卵は短髪の人には耳の後、やや長めの人（男子）は、表面上はいなくても、髪の中の方に卵がついている場合があるので、地肌の方までよく見る。長髪の人には頭頂部・後部の生え際、幼児は後頭部（枕があたる部位）に注意する。
(フケやヘアキャストとちがいで、ニカワ様物質で髪の毛に強く固定され、指でひっぱっても簡単にはとれないのが卵である。)

3 アタマジラミが感染すると…

- ・血を吸われるため、頭がひどくかゆくなり、不快感がある。
- ・皮膚炎や湿疹になる。

4 アタマジラミが見つかったら…

- ・病院で相談する、又は薬局で相談し、薬を購入し駆虫する。

駆虫については、ご家庭で責任をもって完全に行う。

薬局では、“スミスリンパウダー”や“スミスリンシャンプー”という直接頭部に付ける駆除医薬品が市販されている。これは、成虫ならほとんど退治できるが、卵には効き目が弱いので、10日間程たって、幼虫になるころまで使用しつづける。詳しくは説明書に従って使用する。

- ・洗髪を二週間ぐらい毎日行う。小さいお子さんには大人の方が髪のつけ根までよく洗う。その後、目の細かいスキグシでよく髪をとかす。とった卵は袋などに密封して処分する。
- ・成虫はとり、卵のついた髪はなるべく短く切る。
- ・パジャマ、下着、シーツ、枕カバー、タオル等は毎日とりかえ、洗濯して、アイロンをかける。
- ・布団、まくらなどの寝具を日光消毒する。
- ・帽子、タオル、くし等、頭やからだにふれるものは共同で使用しない。
- ・家族全員で駆除にあたる。
- ・プールは治療を始めれば入って構いませんが、タオル、ヘアブラシ、水泳帽などの貸し借りはしない。
- ・発見した場合は学級担任に連絡する。

5 予防

- ・髪の毛はていねいに洗い、いつも清潔にしておく。低学年はきちんと洗えたかを確認する。
- ・目の細かいくしでとかす。
- ・帽子、タオル、くし等を共同で使用しない。（家族内感染が多い。）
- ・水泳後、シャワーで頭部を十分に洗い流す。
- ・家族でシラミやその卵がないかを時々調べる。
(頭がかゆいという訴えがあるときは、特に注意して見てみる。)